



2019年5月9日

各 位

上場会社名 TAC株式会社
 代表者 代表取締役社長 多田 敏男
 (コード番号 4319)
 問合せ先責任者 執行役員IR室長 野中 将二
 (TEL 03-5276-8913)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,200	910	880	550	29.72
今回修正予想(B)	20,474	340	409	309	16.74
増減額(B-A)	△725	△569	△470	△240	
増減率(%)	△3.4	△62.6	△53.4	△43.7	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	20,951	833	735	442	23.93

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,200	730	740	440	23.78
今回修正予想(B)	19,584	101	197	149	8.08
増減額(B-A)	△615	△628	△542	△290	
増減率(%)	△3.0	△86.1	△73.3	△66.0	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	20,054	640	540	290	15.72

修正の理由

当連結会計年度における当社の個別業績は、日本経済の好景気に伴う良好な就職状況の影響を受けて、当社の主力講座の一つである公務員講座への申し込みが上期・下期ともに期初の想定以上に低調に推移したこと等により、売上高及び営業利益は期初の予想を下回ることとなりました。また、営業外収益において保険積立金の解約による受取保険金約70百万円を計上したことで、経常利益及び当期純利益は上表の通りとなる見込みであります。なお、当社は期初ないし中長期的な受講者数の見込み等に基づき校舎(教室)を用意し、講師を配置し、教材を制作するため、講座に係る売上高の増減はほぼ利益の増減に直結しやすいという特徴があります。

連結業績に関しては、上記個別業績の修正の理由に加え、子会社の(株)TACプロフェッションバンクにおいて、会計系人材事業の減速傾向が顕著になり始めたことで売上は期初の予想を約110百万円下回ることとなりました。一方、(株)TACプロフェッションバンクを含め連結子会社において営業費用の抑制に努めたことで、営業利益、経常利益及び当期純利益はそれぞれ上表の通りとなる見込みであります。

以上